

生活創造空間

にし NISHI

～アンラシネを目指します～

第9号 2011年12月10日発行



10月1日(土) 第2回

第3地区福祉フェスタが開催されました!

生活創造空間にし 渡辺幹夫

昨年同様 「生活創造空間にし」において 上記フェスタが開催されました。今年も実行委員会形式で各団体から1名選出され月1回 会合を重ねてきました。藤棚ケアプラザ・自然食品の店 菜月・ゆめづくり三番館・みらい工房西・さらい工房・生活支援センター西・エヌクラブ・ガッツビーと西に加え今年は新たに「居場所事業 つむぎ」が参加するとともに地元の第3地区懇談会も加わり9団体プラスαという形になりました。

基本の流れは昨年をベースにして創りあげていきましたが、今年は「障がい」の方々の演奏や朗読を真ん中に置き より「福祉フェスタ」の色合いを強くしました。

そして当日となり、天気もなんとか持ち 来場者も昨年を上回り 全体を振り返るといい積み重ねができたように感じました。今年も当日参加で「中区地域活動ホーム準備会」と

「百屋」が加わり店舗会場は賑やかな雰囲気になりました。

昨年の反省もあり電気の容量をアップして臨んだので各ブースも順調に進んでいました。1階ステージではオープニングの沖縄民謡にはじまり「名曲ジュークボックス」そして午後には「おどるなつこ」のタップダンスと「ジューク」のコラボ。最後には昨年を ちょっとコンパクトにした「大抽選会」をやり 無事に15:00終了となりました。

あわせて5階会場では午後から「落語会」を上演し80人の来場がありました。「山遊亭金太郎」「桂三輝(かつらサンシャインと読みます。なんとカナダ人です。)」のお二人が2席ずつたっぷり口演していただき、大きな笑いにあふれた会場となりました。こんな時だからこそ大きな「笑い」が必要!との思いを強くしました。



障がいある人 高齢の方々 子ども達 そして地域の方々と福祉の仕事をする人達が交わる
そんな「あたりまえのまちづくり」を目指すとともに この福祉フェスタは「福祉」ということ
にこだわっていきたいと思うのです。「福祉」と「しあわせ」とほぼ同義と云われます。地域で
「弱いもの」と云われる「人」たちの「しあわせ」がどんな形で実現できるのか。こんなことを皆
で考えていくフェスタでありたいですね。

さあ！また第3回にむかって歩き出します。来年もよろしくお祈いします！

平成 23年度 第2回 生活創造空間にし研修報告

「あらためて 地域を学ぶ 2」～しなやかに創りあげる地域連携2～

芳賀西区長：地域の連携でつくるこれからの福祉

今年度の生活創造空間にしの研修テーマは、「地域」です。ひとつひとつの社会資源が地域の中でどのよう
につながっていけばよいのか・・・今年は東日本大震災という大きな天災があり、まさに地域とのつながりの中
で、人々（特に高齢者・障がい者）の暮らしが支えられていかなければならないのでは、と痛感しました。

そんなことを考えている中、今回は西区長の芳賀宏江氏に『地域の連携でつくる これからの福祉』という
標題で、地域福祉に関してお話を頂きました。

この30年の間、横浜は現場が問題を発見し、国に先駆けて制度を創る流れがあり、結果として、福祉制度が
充実してきたとのことです。例えばバリアフリーについては国より先駆けて取り組み、それらがひろがって平
成18年にバリアフリー法につながったことや、1984年～ヘルパーを、パートながらはじめて“仕事”に
位置付けてスタートした「横浜市ホームヘルプ協会」は「介護保険制度」の前身にもなったことなどなど・・・
福祉行政での経験が豊富な区長ならではの話を頂きました。

そして、現在横浜市各全区挙げて取り組んでいる社会福祉法に基づく福祉計画の推進（西区では「にこまちプ
ラン」という愛称です）については、地域での顔の見える関係づくりとして、普段からご近所付き合いをす
めていくことが大事であること、「要援護者」も地域の一人として「地域デビュー」を進めて行くことが大切
であるとのことでした。その中で、障がい者が地域デビューを促すのは福祉の役割とのお話が印象的でした。
ふりかえれば、私たちは、障がいのある方の支援を施設の中で充実させよう、としているかもしれませんが。そ
れだけではなく、いかに地域に出て行くかを支援することも着眼点としてもっていきたいと感じた研修でした。

第2部では、グループに分かれてディスカッションを行いました。芳賀区長もグループに加わって下さり、
忌憚ない意見交換ができました。今後も地域連携のためにお互い“つながりあい”を大切にしていければと感じ
ました。

ご多忙にもかかわらず、講演をご快諾頂いた芳賀区長に改めて感謝申し上げます。

文責：エヌ・クラブ 熊井

ケアホームシャンティが

《10月に

オープンしました!》



横浜市南区の大橋町にガッツ・ビーと西がバックアップするケアホームシャンティがこの10月にオープンしました。大岡川がすぐ近くに流れていて、春にはお花見をしようと目下計画中です。シャンティを訪れた人は、必ず一度は気付かずに通り過ぎてしまうのですが、それ程に、以前からこの場所にあったように佇んでいるこの建物。日当たり抜群! 広いリビング! の新築一戸建てです。(皆さん、ちょっと覗いてみたくなってきましたか?) 現在女性5名が、このホームで生活を始めています。「シャンティ」というちょっと聞き慣れない名前ですが、某世話人に所縁のあるお寺のお坊さんからいただいた名前です。古代のインド語(サンスクリット語)で、「平和、安らぎ」という意味があります。この意味の通り、シャンティが入居者の方々にとって安心できる、安らぎの場所となりますように、これから精進してまいります。また、おいしい夕食を作ってくれる夕食作りのスタッフも現在募集中ですので、ぜひ皆さんお声かけをお待ちしております!

ケアホームシャンティ 世話人 畑野 沙織



就労サポートセンター
エヌ・クラブ

軽作業

これぞ匠の技!!

今回は軽作業チームをご紹介します。エヌ・クラブの中でも大人数の22名が所属し、主に紙もの(お菓子の箱折りやシール貼り)や雑貨物の作業を行っている部屋と工業系の組み立てを行っている部屋に分かれています。現在約10社から作業を頂いており、その都度依頼される作業が違うので、出来る事をみんなの力を合わせて作業を進めます。年末年始が近くなってきましたが、この時期は年末商戦に合わせてギフトボックスや初売り用の紙袋作業に追われています。単に箱折りと言っても指紋が付かないように、山折り谷折りを間違えないように、髪の毛を落とさないようにと様々な事に配慮が必要ですし、工業系の組み立てにおいては、つまようじを駆使した作業や部品の向きが決められている作業があり、集中力や持続力が求められます。

2009年4月にエヌ・クラブが開所した際に、横浜市が運営していた授産所の閉鎖に伴い、作業をご希望の方がエヌ・クラブに移行されました。ご理解、ご協力頂いた企業の皆様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。授産所に通われていたご利用者の皆さんは長い間、作業に従事され様々な箱折りも、細かな組み立てもサクサクとこなされています。これぞ匠の技!(ご見学下さった方はこの感じをご理解頂けると思います)作業を頂いている企業の信頼を得てこぞ頂ける仕事であり、信頼される事は軽作業の勲章ではないでしょうか。



♪～「生活創造空間にし」では音楽が流れます～♪

ステーション邂逅 Vol.7 開催決定！！

日 時：2012年1月26日(木) 18:00～20:00
場 所：生活創造空間にし 1F エントランス
出 演：DaIdai (橙) ピアノ 島末幸子 フルート 小林豊美
うた おのてらとも子

チケット：500円(ドリンク付き)

新年最初のステーション邂逅は、DaIdai (橙) さんに決まりました。
生活創造空間にしではおなじみ、ステーション邂逅は2回目のご出演となります。
今回はボーカルにおのてらとも子さんを迎えてトリオでのご出演です。
JAZZ や POPS など幅広い音楽とゆっくりとした時間をあ過ごしてください！



西区地域自立支援協議会・余暇支援部会からのお知らせ



お餅 だヨ！全員集合！



生活創造空間にしにて西区在住・在学・在勤の障がい者の方を対象とした余暇活動を行います。実施の日程は、**平成24年1月22日(日)10:00～14:00**
今年も地元の方々にご協力いただき美味しいお餅を楽しみます。お餅の後は今年もカルタ界のプロ？をお呼びしてカルタ大会の仕切りをお願いしますので、盛り上がること間違いなしです！！参加をご希望される方は、ガッツ・ビーと西：阿部（250-6506）までご連絡をお願いします。（※切・12月28日(水)）
* 参加を希望される方は1月14日(土)11:00より行われます、説明会への参加もお願いいたします。
場所は、開催場所と同様、生活創造空間にしとなります。 * 参加費は¥500です。

西区地域自立支援協議会・余暇支援部会参加団体

浅間台地域ケアプラザ 横浜市藤棚地域ケアプラザ 横浜市宮崎地域ケアプラザ 横浜市戸部本町地域ケアプラザ
ガッツ・ビーと西 西区地域活動ホーム 西区役所 横浜市障がい児居場所つむぎ 神奈川県立保土ヶ谷養護学校
横浜市西区社会福祉協議会

腹黒日記～黒々なるままに～

☆縁は異なもの、味なもの☆

私も縁あってこの世に配偶者を得ることができた。相手がどういう人間なのかはまたの機会としたいが、縁については今、語りたい。
私の弟は「孝」というが、相方の父も「隆」という。私の叔母(父の妹)は「あや子」というが、相方の姉も「文子」という。
私の父方祖母は「タマ」で、相方の家の飼い猫は「たまちゃんとふうちゃん」だ。
私の実家で、以前「マミー」というビーグル犬を飼っていたが、妻の名前は「真美」だ。
ちなみに私の名前と、相方の姉の夫(義兄)も漢字違いで同じ名前だが、正体がばれてしまうのでここでは書けない。ここまで来ると真相を疑う読者の方もいるかと思うが、腹黒の名にかけて真実を誓う。縁は異なもの、味なもの哉。(腹グロール)

生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)